


所在地:	愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番				
敷地面積:	161,704m ²	延床面積:	135,079m ²		
設立:	1956年5月	従業員数:	1,716名 (2025年4月1日)		
ISO14001取得:	1996年12月	ISO14001最新更新:	2024年8月		
主要製品:	換気空質分野、家電空質分野、環境エンジニアリング分野、環境デバイス分野				
環境コミュニケーション:24年度					
情報開示:	7件	工場見学:	77名		地域貢献活動:
問合せ:	パナソニック エコシステムズ(株) 人事・総務部 施設資産管理課				

2024年度の環境重点テーマの取組み

目標	成果
CO2削減貢献量：8.4万t-CO2以上 (当社製品による社会のエネルギー削減に貢献した量)	6.9万t-CO2 (対計画82%、対前年105%)
エネルギー使用量：16,706MWh以下 ※ 廃棄物・有価発生物量：3,505t以下	エネルギー使用量 15,399MWh 廃棄物・有価物発生量 3,325 t

※1. 数値集計範囲は日本国内

製品・環境配慮ポイントの紹介

次亜塩素酸 空間除菌脱臭機「ジアイーノ」
A4サイズの設置面積で適用床面積18量を実現

パナソニック(株) は、18畳対応で従来比1/3サイズの次亜塩素酸 空間除菌脱臭機「ジアイーノ」F-ML4000Bを2024年10月25日に発売しました。除菌・脱臭・集じんの3機能を備え、A4サイズで設置しやすく、リビングや寝室など様々な場所に対応。新開発の電流制御システムにより、小型ながら高濃度の次亜塩素酸を安全に生成し、広い空間にも対応可能です。排水頻度も月1回に減り、手入れも簡単。小さな子どもやペットのいる家庭、自宅介護の家庭など、快適な空気環境づくりに貢献します。

エコ・ハイブリッド方式 衣類乾燥除湿機
パナソニック独自方式で消費電力約1/3**「浴室暖房乾燥機連動の熱交換気システム」**
大規模マンションで初めて採用

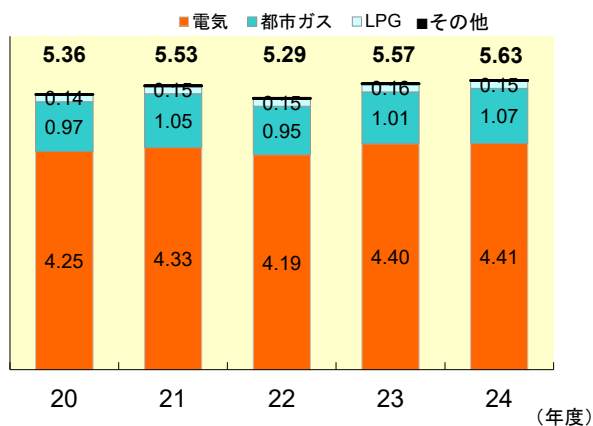
パナソニック(株) 空質空調社は、東京ガス(株)と共同開発した「ガス温水式浴室暖房乾燥機連動タイプ熱交換気システム」を、三井不動産レジデンシャル(株)が開発中の「パークシティ中野」住宅棟全807戸に納入しました。微小粒子フィルターと排気制御技術により、花粉の室内侵入を約86%低減。浴室暖房乾燥機と連動し、室内の負圧を抑えることでPM2.5の侵入も防ぎます。さらに、熱交換気ユニットにより約37%の省エネを実現。自動運転で冬の過乾燥や結露も防ぎ、快適な住空間を提供します。

パナソニック(株) は、従来比約1/3の消費電力で除湿量12.5L/日を実現する「エコ・ハイブリッド方式」衣類乾燥除湿機 F-YEX120B を、2024年5月下旬に発売しました。2つの冷却機構による高効率な除湿に加え、独自の送風技術「ツインルーバー」で不規則な風を洗濯物に当て、スピーディに乾燥させます。さらに、乾燥完了を見極めて自動停止する「カラッとセンサー」や、部屋干し衣類の除菌・臭い抑制に効果的な「ナノイーX」も搭載。省エネで快適な部屋干しをサポートします。

環境パフォーマンスデータ グラフ表示年 24: 2024年4月1日～2025年3月31日

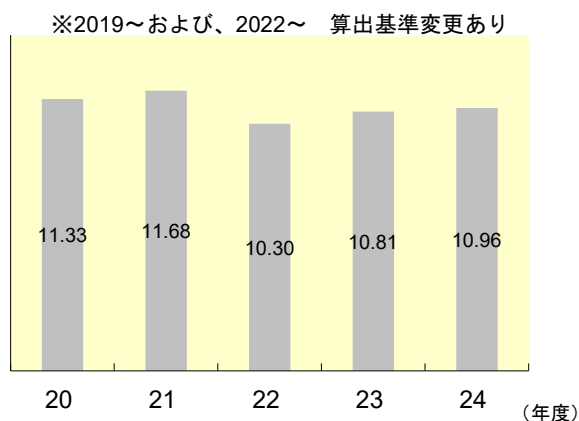
エネルギー使用量

単位: 千kl



CO2排出量

単位: 千t



自然エネルギー発電量

24年度

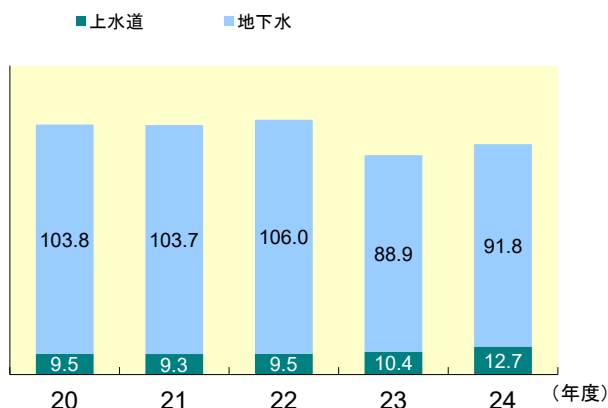
太陽光 1,742 千kWh

算出基準について

エネルギー使用量、CO2排出量の算定基準。環境省「温室ガス排出量算定方法に関する検討結果(2000年9月)」を基本。但し、購入電力のCO2排出係数は0.410kgCO2/kWh(2006～2018年度)、0.540kgCO2/kWh(2019～2021年度)の値で算出。2022～2023年度は0.487kgCO2/kWhの値で算出。

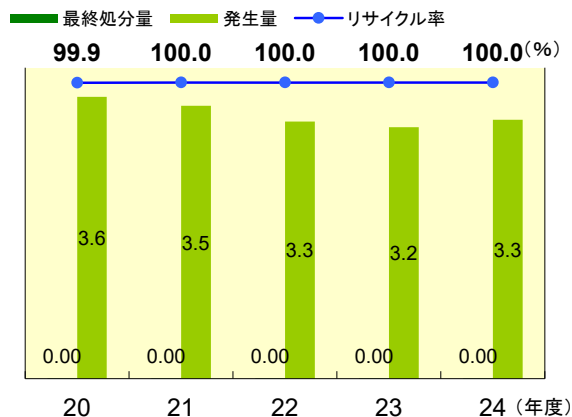
水の使用量

単位: 千m³



産業廃棄物・有価発生物

単位: 千t、%

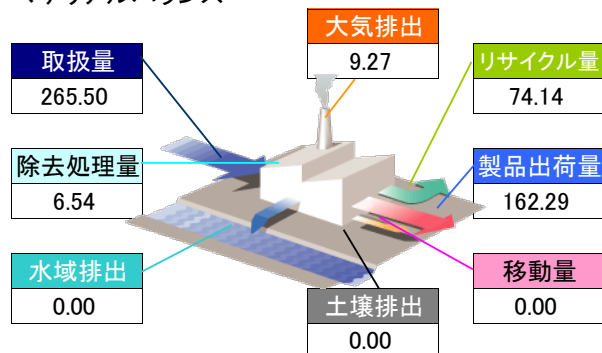


化学物質

単位: t

マテリアルバランス

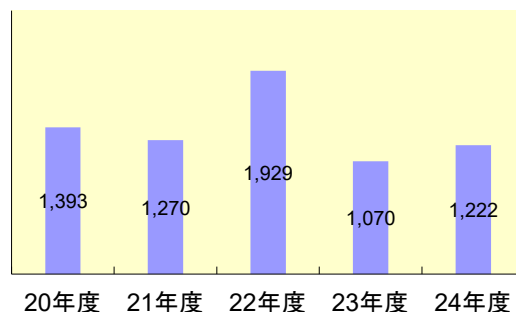
24年度



化学物質

単位: カウント

ヒト・環境影響度



パナソニックグループの工場化学物質管理について

環境パフォーマンスデータの特記事項

<http://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/eco/chemical.html#factory>

特記事項はございません。

環境法令等の順法状況

24年度

＜大気汚染物質計測状況＞

※第3者機関での測定

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
NOx	ppm	3号ボイラー(天然ガス)	150	100	13	21	2回/年
		4号ボイラー(天然ガス)	150	100	15	25	2回/年
		Aライン焼付乾燥炉(天然ガス)	230	100	25	25	2回/年
ばいじん	g/Nm ³	3号ボイラー(天然ガス)	0.30	0.005	0.001未満	0.001未満	2回/年
		4号ボイラー(天然ガス)	0.30	0.005	0.001未満	0.001未満	2回/年
		Aライン焼付乾燥炉(天然ガス)	0.20	0.005	0.001未満	0.001未満	2回/年

＜水質汚濁物質計測状況＞

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
COD	mg/l	排水処理施設/総合排水口	25	16	3.8	7.3	12回/年
BOD	mg/l	排水処理施設/総合排水口	25	16	2.0	6.3	12回/年
窒素	mg/l	排水処理施設/総合排水口	120	60	3.8	6.5	12回/年
リン	mg/l	排水処理施設/総合排水口	16	8	0.20	0.41	12回/年

＜騒音・振動＞

	単位	計測場所	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
騒音	dB	昼 敷地境界	75	70	55	59	1回/年
		夜 敷地境界	70	65	47	52	1回/年
振動	dB	昼 敷地境界	75	70	35	40	1回/年
		夜 敷地境界	70	65	31	35	1回/年

法令規制値：法または条例および協定の規制する値

法令規制値超過について

報告すべき事項はございません

指導、指摘事項に対する改善状況

指導、指摘事項	改善対策
報告すべき事項はございません	

環境方針

パナソニック(株)空質空調社グループの環境方針に準拠

パナソニック株式会社 空質空調社 環境方針

【パナソニックグループ環境宣言】

私たち人間には宇宙万物と共存し、調和ある繁栄を実現する崇高な使命が与えられている。我が社はこの人間に与えられた使命を自覚し、企業としての社会的責任を遂行するとともに、この地球がバランスのとれた健康体であり続けるために環境の維持向上に万全の配慮と不断の努力を行う。

【基本方針】

グループの環境ビジョンである「Panasonic GREEN IMPACT」のもと、当社の事業活動及び商品・サービスを通じて、“脱炭素”と“資源循環”の両輪で地球環境問題の解決に貢献します。

【行動指針】

- 事業場での活動・製品及びサービスに係る環境側面を認識し、環境パフォーマンスの継続的改善と環境汚染の予防及び、環境保護に努めます。
- 環境側面に関係する適用可能な法令・条例及び受入れを決めたその他の要求事項を順守します。
- 事業場での活動・製品及びサービスに係る環境側面のうち、次の項目を重点テーマとして取り組みます。

(1)環境課題への取り組み

- 生産活動、商品・サービスを通じてCO₂削減に取り組みます。
- 循環型モノづくりの追求を通じて、資源の有効活用に取り組みます。
- 効率的な水の利用と汚染防止により、水資源の保全に努めます。
- 化学物質による人や環境への影響を減らします。
- 生物多様性への配慮とその保全に努めます。

(2)社会との共感を通じた取り組み

- 技術を強みに、お客様の環境価値を創出する商品・サービスを提供します。
- パートナー様と共に環境貢献活動を拡大します。
- 地域社会とのコミュニケーションを深め、協力して環境課題へ取り組みます。

- 環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善を図ります。

空質空調社は、ブランドスローガン「空気から、未来を変える。」を通じ、上記環境方針を実践してゆきます。

2024年4月1日

パナソニック株式会社 空質空調社
環境担当役員

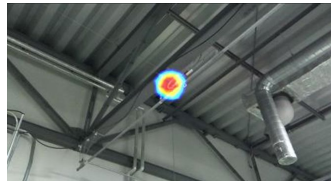
山内 進

環境負荷削減の取り組み事例

■ エア漏れ箇所メンテナンスによるエネルギーロス削減

私たちパナソニック エコシステムズの工場の生産設備を始めとした工程内では圧縮空気を使っています。工場エアは配管の劣化や結合部の緩みなどで漏れが生じることがあり、放置するとコンプレッサのエネルギーロスに繋がります。エネルギーロス削減を目指し、エア漏れ可視化機器を新規に導入しました。この機器導入により、これまで人による発見が難しかった高所でのエア漏れや、小さなエア漏れの箇所を高精度に発見することが可能になりました。2024年度は、新たに63か所のエア漏れを発見し、エア配管や結合部のメンテナンスを行うことによってエネルギーロス削減に繋がりました。

高所におけるエア漏れ可視化例



■ 生産性の向上によるエネルギーの削減

私たちパナソニック エコシステムズが保有している生産設備や、生産方法などについて、設備を省エネタイプのものに更新することや、生産所用時間を分析し、改善することによる、生産に使用するエネルギーの効率の改善を推進しています。2024年度も計画的に設備更新や活動を実施しました。それらにより、CO₂ 88tを超える削減効果が見込まれます。

＜2024年度に実施した エネルギー削減策例＞

はんだ付け装置の更新導入、LED照明への切替更新、制御盤冷却ファンの更新など

■ 非化石証書の取り組み

私たちは2030年にCO₂排出の実質ゼロ化を目指し、取り組みを進めています。ただし、使用するすべてのエネルギーについて、省エネもしくは工場への再生可能エネルギー発電設備の設置で、CO₂排出のゼロ化を実現するのは難しく、残った化石エネルギー由来の電力や燃料については、オフセット(埋め合せ)が必要になります。2022年度より非化石証書購入を開始し、1.5GWh(使用電力量の約10%相当)をオフセット、2024年度も前年とほぼ同量の非化石証書を購入し、698tのCO₂排出をオフセットすることができました。

環境コミュニケーション事例

■ 環境絵画コンクール

パナソニック 空質空調社は、2024年夏に開催した「第19回環境絵画コンクール」で、全国から集まった1,242点の応募作品の中から、最優秀賞など11点の入賞作品を選出しました。このコンクールは、子どもたちが環境について考えるきっかけづくりを目的に2006年から開催されており、今回のテーマは「きれいな空気・水と生きもの」。入賞作品は豊かな色彩と素直な思いが込められており、春日井市長賞作品はごみ収集車にラッピングされ活用されます。



最優秀賞



春日井市長賞



社長賞

■ 春日井まつり<エコワールド>

春日井市を中心とし、地域と企業で環境活動を行う「かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議」が主催するエコワールドに出展。風鈴工作や環境絵画展示等を実施しました。



春日井まつり 当社ブース

■ 春日井市 エコライフDAY;「打ち水」の実施



春日井市は、市民や各事業場に対して8月の「エコライフDAY」に打ち水の実施を呼びかけています。当社は「かすがいエコオフィス」に認定された事業場としてこの環境活動に参画しており、8月7日(水)に社屋前で打ち水・散水を行いました。

緊急事態への準備と対応

考え方と訓練計画

緊急事態に対応するための手順や、緊急事態の発生の結果、発生する環境影響を予防、軽減するための手順を確立・維持し、訓練を行っています。緊急事態対応とは、地震・火災・故障・事故・洪水(浸水)などにより、下記の事態が生じた場合の対応を想定しています。

1. 公害防止設備において工場で定めた数値を超えた場合
 2. 一般機械設備等から環境負荷物質が大量に漏洩した場合
- ※全員参加の避難訓練

■ 実際の緊急事態訓練

各部門ごとに工程・設備・作業について緊急事態の対象であるかを判断し、必要な部門については、対応手順書を作成し、それに準ずる緊急事態訓練を行っています。

訓練では、作業手順を確認すると共に、手順書の掲示場所・作業用具の保管場所等を周知し、迅速な作業が出来るようにしています。



訓練事例写真: 油漏れの集合教育